

イマーシブリーダー

JJ1SXA/池

Microsoft Edge の「イマーシブリーダー」がイマイチ使い切れていない、皆さんは便利に使いこなしているのだろうか？私は使いこなしているには程遠い、というわけで、少し再勉強だ、例により備忘録を書く、これが、240誌の原稿となる。

この機能は、2020年7月13日に公開されて、2022年9月27日に更新されているものだ、「イマーシブリーダー」は、WEBページの広告などを除いて表示し、音声でそのページのテキスト部分を読み上げることができる機能だ。

イマーシブリーダーはもともと、失語症とジスグラフィ症を持つ読者のニーズを満たすように設計されたものだそうです。

ここで、「失語症」とは、言語障害の一種で、「話す」「聞く」「読む」「書く」などの言語機能が損なわれ、それらがうまくできなくなった状態とのこと。

また、「ジスグラフィ症(失読症)」とは、学習障害のひとつで、会話能力に問題はなく、眼にも異常がないにも関わらず、文字の読み書きや文章を読むのに困難を抱える読字障害とのこと、今まで「失語症」という言葉は知っていたが、「ジスグラフィ症・失読症」という言葉は知りませんでした。

操作方法としては、ブラウザMicrosoft Edge を起動し、イマーシブリーダーに対応しているWEBページを開き、イマーシブリーダーのアイコンをクリックするか、キーボードショートカット「F9」をクリックでもOK。

イマーシブリーダーでWEBページが表示されるので、「音声で読み上げる」ボタンをクリック、再生が始まると音声で読み上げている箇所を表示しながら進んでいく、「戻る・一時停止・送るボタン」が表示されます。

イマーシブリーダーに対応していない(アドレスバーの右側にイマーシブリーダーのアイコンが表示されていない)WEBページは、URLの前に「read:」を入力すればイマーシブリーダーを起動できる。

イマーシブリーダーで閲覧者モードに入ると、ポップアップやボタンの邪魔を隠すことで、閲覧中のページが簡略化され、テキストコンテンツとビジュアルコンテンツという重要な部分だけが残ります。

リーダーモードに入ったら、「読み上げ、テキスト設定、文法ツール、読み取り設定」などのツールの使用が可能になる、例えば、「テキスト設定」では、テキストサイズ、テキスト間隔、ページテーマなど、様々なテキストと色のオプションから選択して、イマーシブリーダーでのエクスペリエンスを向上させることができ、イマーシブリーダーツールバーの「テキスト環境設定」で確認できる。

イマーシブリーダーを終了するには、アドレスバーの先頭の「戻るボタン(←)」をクリック、または、イマーシブリーダーのアイコンクリック、或いは、キーボードショートカット「F9」をクリック。

「イマーシブ(immersive)」とは「没入感のある」といった意味で、「イマーシブリーダー(immersive reader)」とは、読むことに没入できる(集中して読める)ようになるということだ、大いに活用すべきだと思った次第。
(2023年12月記)